

神奈川における縄文時代文化の変遷Ⅷ

－後期前葉期 堀之内式土器文化期の様相 その1－

縄文時代研究プロジェクトチーム

1. はじめに

昨年までの後期初頭期・称名寺式土器文化期をめぐる研究に続き、今回から後期前葉の堀之内式土器文化期の様相を検討する。

後期前葉になると、東京湾の東岸一帯や霞ヶ浦沿岸に大規模な貝塚が営まれ、また神奈川県を含む関東西南部一帯には配石遺構を伴う遺跡が形成されるようになる。遺跡・遺物に示される関東地方の縄文時代社会は、中期末葉から後期初頭の退嬰期とも呼ぶべき減少傾向を脱し、この時期に新しい段階を迎えたとしてよいだろう。また遺跡数が増え、その規模が拡大する一方で、中期段階では認められなかった文化的要素が加わるのである。例をあげれば、前述した配石遺構がそうであるし、後期の縄文土器を特徴づける注口土器もまた堀之内式期でその器形が確立し、土器の組成の中に一角を占めることとなる。

こうした堀之内式期から加曽利B式期にかけての遺跡は県内に多数が知られ、後述するようにここ神奈川県は当該時期を扱う研究者にとって格好のフィールドを提供してきた。

今回は報告書を中心とした文献から、堀之内式段階の遺跡に関する情報を抽出し、遺跡のデータベースを作成した。集成したデータについては従前に倣い、神奈川県内における堀之内式土器出土主要遺跡を地名表・参考文献としてまとめ、掲載している。集成したデータに基づき、次年度以降、住居址出土の一括資料に比重を置きながら、主要遺跡における土器の比較・検討を行い、当該段階における「土器編年試案」構築をめざす。また堅穴住居址・住居以外の遺構・集落構造・遺跡分布及び土器以外の遺物に関する検討を実施していく計画である。

2. 研究略史

堀之内式土器は、千葉県堀之内貝塚採集資料や1921年の東京大学人類学教室による出土遺物を標識遺跡として山内清男により設定された土器型式である。学史的には1924年の千葉県加曽利貝塚の発掘調査、1925年の千葉県姥山貝塚、1928年の千葉県上本郷貝塚の発掘調査を経る中で、阿玉台式・加曽利E式・堀之内式・加曽利B式の配列が明らかにされたとされるが、堀之内式土器の型式的な内容が明確に示されるのは、1940年の山内清男による『日本先史土器図譜』（山内1940）を待たねばならなかった。なお、山内が示した土器型式の変遷は、その後、加曽利E式と堀之内式の間に1951・1957年に発掘調査された横浜市金沢区の称名寺貝塚出土土器から型式提唱された称名寺式を挟むことにより、現在我々が見る加曽利E式・称名寺式・堀之内式・加曽利B式という中期後葉から後期前半にかけての配列が出来上がる。また前段階となる称名寺式が設定されることにより、堀之内式土器の位置づけが明瞭となり、その系譜や地域性へと研究者の注意が向けられることとなった。今村啓爾による称名寺式から堀之内式への系統的な研究（今村1977a・b・1981）はその代表であろう。堀之内式土器の研究はその後の調査事例の増加により、編年的な序列と系統・地域性へと展開していく。

堀之内式土器研究の大きな画期となったのは、市立市川考古博物館による「シンポジウム堀之内式土器」(市立市川考古博物館1982)である。同シンポジウムでは、関東北部、下総台地、大宮・武蔵野台地、関東西南部の地域別の報告により、堀之内式土器の編年とその地域性への研究者の関心を集めることとなった。特に東南西部の編年と資料を担当した石井寛による作業、同じくシンポジウムで下総台地を中心とした関東南東部についての鈴木徳雄による分類と編年の提示などは、その後に続く諸研究の基礎になるものと位置づけられる。また、港北ニュータウン埋蔵文化財調査団により開催された「称名寺式土器に関する交流研究会」(港北ニュータウン埋蔵文化財調査団1985)により、称名寺式土器の最終末段階と初現期の堀之内式土器との関連が照射されたことも、ここでふれておかなければならないだろう。なお、堀之内式の地域性・地域差については、既に山内清男による指摘があり(山内1940)、『先史土器図譜』の中で、「下総方面」と「武蔵相模方面」の位相の違いが述べられている。こうした地域性について、特に後者「武蔵相模方面」の土器群を、「下北原式土器」(安孫子1981)や「東正院式」(澤柳1979)と呼称する主張があった。これらの土器群の扱いについては、研究者間でも扱いが異なり、一定の定義は難しい。安孫子昭二による「下北原式土器」は比較的研究者間に膾炙したもので、無文地に沈線を描いた前段階称名寺式の系譜を引く土器群と理解されたが、型式名称として定置されることはなく現在に至っている。

80年代後半から90年代には堀之内1式土器についての阿部芳郎による論考(阿部1987・1988a・b・1990・1994)が発表された。阿部は一連の研究で東北地方南部における編年に照らしながら堀之内1式土器の編年を提示するとともに、その「構造」へと論及している。一方、阿部の諸作業に相前後し、堀之内式土器の編年研究の強力な推進役となったのが前述の石井である。石井はシンポジウムの後、1984年に堀之内2式土器の編年を提示した(石井1984)。石井による5細分は、今なお当該時期編年の基軸の一つと見なされる。その後石井は堀之内1式土器について6つの類型とその5細分を提示した(石井1993)。石井の編年は「各類型の変遷・消長と相互の関係や、地域性の把握などが示され、今日、最も整備された編年案」との評価(加納2008)を得ている。また石井は続く1995年には横浜市原出口遺跡20号住居址出土の一括資料について、堀之内1式終末から堀之内2式の資料を集成し、後者が成立する複雑な様相を、主に東北地方の土器群との関係から論じている(石井1995)。

近年の研究は、石井の諸作業や鈴木(鈴木1998・1999b・c、縄文セミナーの会2002a・b)の強い影響下、土器型式内の類型の把握と変遷、類型相互の影響関係また地域性について事例の集成と検討が重ねられている(鯉淵2002、松田2002、加納2000・2003・2008)と把握される。石井が既に指摘するように堀之内式土器の型式的な内容は複雑である(石井1995)。堀之内式土器の分析にあたっては、型式内の土器群における類型の設定、設定した類型の時間的変遷と、類型間の相互影響関係、堀之内式土器の地域性、他地域からの影響等、多角的な視野を踏まえた分析が必要とされるだろう。(小川岳人)

参考文献

- 相川陽子 1994「堀之内式土器」「堀之内1式土器」「堀之内2式土器」『縄文時代研究辞典』東京堂出版
- 安孫子昭二 1981「関東・中部地方」『縄文土器大成 3 後期』講談社
- 阿部芳郎 1987「縄文時代後期前葉型式群の構造と動態」『駿台史学』71
- 阿部芳郎 1988a「堀之内1式土器の構成と変遷」『信濃』40巻4号
- 阿部芳郎 1988b「堀之内2式型式基礎論考〔I〕」『千葉市立加曽利貝塚博物館紀要』15号
- 阿部芳郎 1990「西ヶ原貝塚小泉ビル地点出土の堀之内1式土器について―堀之内1式終末段階の検討序説―」『文化財研究紀要』四集
- 阿部芳郎 1994「西ヶ原貝塚出土の堀之内1式土器とその変遷」『北区埋蔵文化財調査報告』12集
- 石井 寛 1984「堀之内2式土器の研究（予察）」『調査研究集録』第5冊 横浜市埋蔵文化財センター
- 石井 寛 1990「称名寺式土器に関する研究史」『調査研究集録』第7冊 横浜市埋蔵文化財センター
- 石井 寛 1992「称名寺式土器の分類と変遷」『調査研究集録』第9冊 (財)横浜市ふるさと歴史財団
- 石井 寛 1993「堀之内1式土器群に関する問題」『牛ヶ谷遺跡・華蔵台南遺跡』(財)横浜市ふるさと歴史財団
- 石井 寛 1995「原出口遺跡20号住居址出土土器群をめぐって」『川和向原遺跡・原出口遺跡』(財)横浜市ふるさと歴史財団
- 市立市川考古博物館 1982『シンポジウム堀之内式土器資料集』
- 市立市川考古博物館 1983『シンポジウム堀之内式土器の記録』
- 市立市川考古博物館 1992『堀之内貝塚資料図譜』
- 稲村晃嗣 1988「鴻ノ巣貝塚出土の縄文時代後期初頭の土器群（補遺）」『村上徹君追悼論文集』村上徹君追悼論文集編集委員会
- 稲村晃嗣 1989「鴻ノ巣貝塚出土の縄文時代後期初頭の土器群」『考古学の世界』慶應義塾大学民族考古学研究室
- 今井康博 1990「勝田第6遺跡のJ1号住居址出土遺物」『調査研究集録』第7冊 横浜市埋蔵文化財センター
- 今橋浩一 1980「堀之内式土器について」『太田区史 資料編考古Ⅱ』大田区
- 今村啓爾 1977a「称名寺式土器の研究(上)」『考古学雑誌』第63巻第1号 日本考古学会
- 今村啓爾 1977b「称名寺式土器の研究(下)」『考古学雑誌』第63巻第2号 日本考古学会
- 今村啓爾 1981「主要遺跡・図版解説 120～126」『縄文土器大成 3 後期』講談社
- 今村啓爾 1983「文様の割りつけと文様帯」『縄文文化の研究』5 雄山閣
- 小川和博 1984「堀之内2式土器編年の課題」『奈和15周年記念論文集』奈和同人会
- 柿沼修平 1981「称名寺式土器」『縄文文化の研究』4 雄山閣
- 加納 実 2000「武士遺跡出土の関西系土器群の再評価」『千葉市立加曽利貝塚博物館紀要』27号
- 加納 実 2003「縄文時代後期堀之内1式土器の系統分析」『千葉市立加曽利貝塚博物館紀要』30号
- 加納 実 2008「堀之内式土器」『総覧 縄文土器』アム・プロモーション
- 港北ニュータウン埋蔵文化財調査団 1985「称名寺式に関する交流研究会 資料集」1985
- 鯉淵義紀 2002「相模湾沿岸域における堀之内2式土器の変遷」『神奈川考古』第38号 神奈川考古同人会
- 斉藤弘道 1978「堀之内式土器研究のあゆみ」『茨城県歴史館報』5 (財)茨城県教育財団・茨城県歴史館
- 縄文セミナーの会 1990『第4回縄文セミナー 縄文後期の諸問題』
- 縄文セミナーの会 2002a『第15回縄文セミナー 後期前半の再検討』
- 縄文セミナーの会 2002b『第15回縄文セミナー 後期前半の再検討―記録集―』
- 菅谷通保 1990「堀之内2式土器について」『日暮里延命院貝塚』足立区教育委員会
- 鈴木徳雄 1984「関東西部における縄文後期前半の土器様相」『王子台遺跡とその周辺』東海大学文化部連合会考古学研究会
- 鈴木徳雄 1990「称名寺式土器」『調査研究集録』第7冊 横浜市埋蔵文化財センター
- 鈴木徳雄 1991「称名寺式の変化と文様帯の系統」『土曜考古』第16号 土曜考古学研究会
- 鈴木徳雄 1995「称名寺式の文様施文過程と伝統」『縄文時代』第6号 縄文時代文化研究会
- 鈴木徳雄 1998「称名寺式の文様変化と論理―称名寺式と堀之内1式の文様構造―」『東海大学校地内遺跡調査団報告8』東海大学校地内遺跡調査委員会
- 鈴木徳雄 1999a「関東地方 後期(称名寺式)」『縄文時代』第10号〔第1分冊〕縄文時代文化研究会
- 鈴木徳雄 1999b「関東地方 後期(堀之内式)」『縄文時代』第10号〔第1分冊〕縄文時代文化研究会
- 鈴木徳雄 1999c「称名寺式関沢類型の後裔―堀之内1式期における小仙塚類型の形成―」『縄文土器論集―縄文セミナー10周年記念論文集―』縄文セミナーの会
- 鈴木徳雄 2000「称名寺式終末期と装飾帯の変化」『群馬考古学手帳』10
- 鈴木正博 1980「加曽利B1式精製土器様式(概説)」『太田区史 資料編考古Ⅱ』大田区
- 谷井 彪 1977「称名寺式土器の推移について」『埼玉県立博物館紀要』3 埼玉県立博物館
- 中島庄一 1981「土器文様の変化―称名寺様式を中心として―」『神奈川考古』第12号 神奈川考古同人会
- 中島庄一 1989「称名寺式土器様式」『縄文土器大観』4 小学館
- 西田泰民 1989「堀之内・加曽利B式土器様式」『縄文土器大観』4 小学館
- 西田泰民 1996「堀之内式土器」『日本土器辞典』雄山閣
- 日本人類学会 1950「本会成立七十年記念 堀之内貝塚発掘」『人類学雑誌』65巻5号
- 堀越正行 2000「堀之内貝塚」『千葉県の歴史 資料編 考古1』
- 柳沢清一 1977「称名寺式土器論(前)」『古代』第63号 早稲田大学考古学会
- 柳沢清一 1978「称名寺式土器論(中)」『古代』第65号 早稲田大学考古学会
- 柳沢清一 1979「称名寺式土器論(続)」『古代』第66号 早稲田大学考古学会
- 柳沢清一 1980「称名寺式土器論(結編)」『古代』第68号 早稲田大学考古学会
- 山内清男 1937『縄文土器の細別と大別』先史考古学会
- 山内清男 1940「堀之内式」『日本先史土器図譜』先史考古学会
- 吉田 格 1960「横浜市称名寺貝塚発掘調査報告」『東京都武蔵野郷土館調査報告書』第一冊 武蔵野文化協会

神奈川県内 後期掘之内式土器出土主要遺跡地名表

- (1) この表は、神奈川県内における縄文時代後期掘之内式の主要な遺跡をまとめたものである。掲載にあたっては、当該期の遺構（住居・土坑・埋設土器など）が発見された遺跡の他、遺物包含層などから土器の出土が報告されている遺跡を対象とした。なお、以下の場合は都合によりデータから除外している。①遺跡台帳や遺跡地図で掘之内式土器の出土が記載されているのみの遺跡。②県史・市区町村史、年報・概要集などで掘之内式土器の出土が報じられているが、まとまった出土量が見込まれない遺跡。③正確な位置や内容が把握できない遺跡。
- (2) この表は、土器編年の基礎資料を集成するためにまとめたものであり、時期細分などについては次年度以降明らかにする予定である。
- (3) 作成にあたっては分担して集成し、データベース化した。なお、表の編集は近藤が担当した。

No.	遺跡名	所在地	文献No.
横浜市鶴見区			
1	荒立台上貝塚	東寺尾	4
2	小仙塚貝塚	下末吉6丁目	3
横浜市神奈川区			
3	三ツ沢台遺跡		5
4	沢渡遺跡		5
横浜市南区			
5	稲荷山貝塚	山谷56他	121
横浜市保土ヶ谷区			
6	帷子峯遺跡	峰沢町358-1	25・32
7	西原遺跡	川島町	46
横浜市磯子区			
8	三股台遺跡	岡村	9
9	左藤内遺跡		12
横浜市金沢区			
10	金沢文庫遺跡	金沢町142外及〇217-6	42
11	上行寺裏遺跡	瀬戸4249-1ほか	147
12	野島貝塚	野島470-2	6
横浜市港北区			
13	篠原大原遺跡	篠原町72-2	130
14	篠原大原北遺跡	篠原町73-21ほか	141
15	公団篠原団地内貝塚	篠原町	43
16	豊屋の上遺跡	新吉田町	87
横浜市戸塚区			
17	細田遺跡	汲沢字細田90～1102	24
横浜市港南区			
18	港南台遺跡	日野町榎戸2978・2982	17
横浜市旭区			
19	小池遺跡	上白根町字小池1161-7ほか	30
20	上白根おもて遺跡	上白根3丁目	33
21	都筑自然公園地内No.5地点	都岡町1175ほか	53
横浜市緑区			
22	玄海田遺跡	長津田町字玄海田	80
23	住横遺跡	長津田町字住横	74
24	霧ヶ丘遺跡群	霧ヶ丘	16
25	三保天神前遺跡	三保町天神前	108
横浜市青葉区			
26	あざみ野遺跡	新石川3丁目19	44
27	稲ヶ原遺跡A地点	さつきが丘8-3ほか	59
28	上谷本遺跡群洋泉院遺跡	みたけ台36	13
横浜市都筑区			
29	華蔵台遺跡	荏田南5丁目10	142
30	矢崎山西遺跡	荏田南町4247番地ほか	134
31	小高見遺跡	大丸2・11付近	136
32	月出松遺跡	加賀原1-14	135
33	高山遺跡	高山4	131
34	北川貝塚	早瀬3丁目30付近	138
35	西ノ谷貝塚	南山田二丁目17付近	126
36	三の丸遺跡	川和町2047	28
37	清水場遺跡	佐江戸町	19
38	古梅谷遺跡	牛久保東2丁目22	71
39	華蔵台南遺跡	荏田南1丁目20	62
40	牛ヶ谷遺跡	荏田南2丁目5	62
41	山田大塚遺跡	東山田町2015	48
42	川和向原遺跡	川和台25	72
43	原出口遺跡	川和台33	72
44	北川貝塚南遺跡	早瀬3丁目	87
45	小丸遺跡	大丸11	102
46	中川地区		14
川崎市中原区			
47	井田中原遺跡B地点	井田1485-1	128

No.	遺跡名	所在地	文献No.
川崎市高津区			
48	新作八幡台遺跡	新作1323他	10
49	新作小高台遺跡	新作1丁目9	29
川崎市多摩区			
50	多摩区No.61遺跡	宿河原地先	91
51	下原遺跡	長尾7-12	109・112
川崎市麻生区			
52	岡上丸山遺跡	岡上675-1	49
53	東柿生小学校内遺跡	王禅寺東6-3-1	73
54	岡上-4遺跡第2地点	岡上字栗畑793ほか	113
55	岡上-4遺跡	岡上字栗畑793ほか	97
横須賀市			
56	吉井城山遺跡	吉井字下吉井735ほか	100
平塚市			
57	原口遺跡	上吉沢1, 617番地ほか	120
58	上吉沢市場遺跡群A地区	上吉沢市場1, 5301ほか	107
59	上吉沢遺跡	上吉沢地内	7
60	真田・北金目遺跡群3区	北金目1494番ほか	101
61	真田・北金目遺跡群32A区	北金目字上野原1574-1ほか	145
62	真田・北金目遺跡群12B区	北金目字塚越1624ほか	145
63	真田・北金目遺跡群12D区	北金目字塚越1628-イほか	145
64	真田・北金目遺跡群15D区	北金目字入谷戸1523-3ほか	129
65	王子ノ台遺跡	東海大学構内	51・67
66	万田遺跡第5地点	万田331-3番地先	114
67	万田貝殻坂貝塚	万田493番地ほか	1・2・139
68	万田貝塚	万田字熊之台349番地先	37
鎌倉市			
69	関谷島ノ神西遺跡	関谷字島ノ神1524-1ほか	35
70	東正院遺跡	関谷東正院	15
71	手広八反目遺跡	手広字八反目1253番地	31
藤沢市			
72	遠藤貝塚(西部217地点)	茅ヶ崎市堤79-4及び遠藤	60
73	南鍛冶山遺跡	石川205番地ほか	70
74	遠藤広谷遺跡	遠藤3, 520番地ほか	127
75	慶應義塾SFC内遺跡	遠藤刈込5355	58
76	西部209地点遺跡	大庭字二番橋5686ほか	52
77	西部225地点遺跡	大庭羽根沢5119-1ほか	52
78	南葛野遺跡	葛原字南葛野・葛原字滝谷	69
79	西富貝塚(藤沢市No. 46遺跡)	西富字光徳467番地	123
80	西富貝塚	西富字光徳竹之下	8・11
81	用田南原遺跡	用田440-11ほか	137
82	用田鳥居前遺跡	用田655ほか	117
小田原市			
83	久野北側上遺跡第I地点	久野1177番地	125
84	久野北側下遺跡第II地点	久野字北側下903ほか	133
85	久野北側下遺跡第III地点	久野字北側下	77
86	久野北側下遺跡第IV地点	久野字北側下890-3, 889-1	133
87	久野北側下遺跡第V地点	久野字北側下889-4ほか	133
88	久野久保下遺跡第I地点	久野字北久保下865-6ほか	125
89	久野北久保遺跡第II地点	久野1184番地ほか	125
90	久野北久保遺跡第IV地点	久野1179番地	125
91	久野一本松遺跡	久野1282他	119
92	久野天野藪遺跡	久野3778-2ほか	119
93	御組長屋遺跡第II地点	南町地内	111
94	御組長屋遺跡第III地点	南町地内	111
95	御組長屋遺跡第IV地点	南町地内	111
茅ヶ崎市			
96	臼久保遺跡	芹沢字臼久保4222ほか	99
相模原市			
97	相原八幡前遺跡	相原4-176-1	122
98	勝坂遺跡	磯部字中峰1740-1ほか	148

No.	遺跡名	所在地	文献No.
99	田名四ッ谷遺跡	大島2437番地先ほか	110
100	古清水遺跡	大島字古清水2434番1ほか	140
101	相模原市№104遺跡	大島字中の原3056-30ほか	124
102	下九沢下作ノ口遺跡	上溝1丁目	93
103	相模原市№154遺跡	下九沢1296	40
104	稲荷林遺跡	下溝19-84	22
105	下中九遺跡	下溝字下中丸611ほか	55
106	下溝鳩川遺跡	下溝字溝開戸737-1ほか	66
107	はじめ沢下遺跡	城山町中沢地先	146
108	川尻遺跡	城山町	57・105
109	新戸遺跡	新戸2607-2ほか	41
110	東原遺跡	当麻1,358番地ほか	56
111	当麻亀ノ甲・西原遺跡	当麻490-2ほか	116
112	当麻亀形遺跡	当麻字亀形526-1ほか	115
113	相模原市№.62遺跡	田名4766-1ほか	75
114	田名塩田・西山遺跡	田名塩田・西山地区40街区	118
115	橋本遺跡	橋本7	36
116	寸嵐二号遺跡	相模湖町寸嵐寸嵐	96
117	青根馬渡№2遺跡	津久井町青根馬渡1676-1他	98
118	青根上野田遺跡	津久井町青根上野田1770他	64
三浦市			
119	間口東洞穴遺跡	南下浦町松輪	82
秦野市			
120	今泉峰遺跡	今泉953	92
121	中里遺跡	上大槻字芦沢509-1ほか	85
122	下大槻峯遺跡	下大槻664ほか	81
123	寺山遺跡	寺山485番地ほか	76
124	同明遺跡	平沢1168ほか	26
125	砂田台遺跡	南矢名165-1	45
厚木市			
126	御屋敷添遺跡	愛甲275-5ほか	88
127	東谷戸遺跡	上荻野430	65
大和市			
128	相ノ原遺跡V地点4次調査	大和市つきみ野3-28-2	86

No.	遺跡名	所在地	文献No.
伊勢原市			
129	池端・椿山遺跡	池端242他	132
130	三ノ宮・下谷戸遺跡(№14)	三ノ宮字下谷戸1,100ほか	106
131	下北原遺跡	日向字下北原	21・143
座間市			
132	明王堂下A遺跡	入谷3-5873	23
133	間ノ原遺跡	栗原1927	54
134	上栗原D遺跡	栗原3029-1・3032-1	27
綾瀬市			
135	上土棚南遺跡	上土棚南	61・95・104・144
136	上土棚遺跡	上土棚字松山1358ほか	61
137	宮久保遺跡	早川字新堀瀬	39
138	吉岡遺跡群	吉岡字蟹ヶ谷	83
高座郡寒川町			
139	県営岡田団地内遺跡	岡田2,839番地ほか	38
中郡大磯町			
140	城山遺跡	西小磯	34
141	大磯小学校遺跡	東小磯3番地	18
足柄上郡中井町			
142	東向遺跡	境字東向1620-1	94
143	井ノ口平治山遺跡	井ノ口字平治山2490番地ほか	78
足柄上郡山北町			
144	尾崎遺跡	神尾田	20
愛甲郡清川村			
145	久保ノ坂遺跡	旧宮ヶ瀬字馬場1280	90
146	馬場遺跡	旧宮ヶ瀬字馬場1330ほか	103
147	馬場(№3)遺跡	旧宮ヶ瀬字馬場1447ほか	79
148	馬場(№6)遺跡	旧宮ヶ瀬字馬場1330ほか	68
149	表の屋敷(№8)遺跡	旧宮ヶ瀬字馬場1370ほか	84
150	北原遺跡	旧宮ヶ瀬字北原1159ほか	89
151	北原(№9)遺跡	旧宮ヶ瀬字北原1159ほか	63
152	北原(№11)遺跡	旧宮ヶ瀬字北原1080ほか	63
153	ナラサス遺跡	旧宮ヶ瀬字ナラサス	50
154	上村遺跡	宮ヶ瀬字上村66ほか	47

文献目録（文献No.は表中文献No.と一致）

- 1925 日本人類学会「神奈川県中郡旭村万田貝殻坂の石器時代遺跡」『人類学雑誌』第40巻第4号 東京人類学会
- 1925 山崎直方・八幡一郎・中谷宇二郎「相模国中郡旭村万田貝殻坂遺跡」『人類学雑誌』第40巻第5号 東京人類学会
- 1935 池上啓介・大給尹・土岐仲雄『横浜市鶴見区下末吉 小仙塚貝塚』
- 1938 坂詰伸男・芹沢長介「横浜市鶴見区荒立台上貝塚に於ける住居址の発掘」
- 1941 石野 瑛『史蹟名勝天然記念物調査報告書』第9集 神奈川県
- 1947 赤星直忠「神奈川県野島貝塚」
- 1964 江坂輝弥ほか「平塚市上吉沢敷石遺跡調査」『平塚市文化財調査報告書第五集』平塚市教育委員会
- 1964 服部清道・寺田兼方『藤沢市文化財調査報告書 第一集』藤沢市教育委員会
- 1964 和島誠一・井上庄平『三殿台 横浜市磯子区三殿台遺跡集落址調査報告』横浜市教育委員会
- 1967 村田文夫ほか『川崎市末長遺跡発掘調査報告』川崎市文化財調査報告第3冊 川崎市教育委員会
- 1970 寺田兼方『藤沢市文化財調査報告書 第六集』藤沢市教育委員会
- 1971 神沢勇一「左藤内遺跡」『神奈川県立博物館発掘調査報告書』第5号 神奈川県立博物館
- 1971 横浜市埋蔵文化財調査委員会調査団「横浜市緑区 上谷遺跡群調査報告」『昭和45年度横浜市埋蔵文化財調査報告書(2)』横浜市埋蔵文化財調査委員会調査団・横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 1971 岡本勇ほか「早淵川北岸地域および周辺地域における埋蔵文化財の予備調査」『昭和45年度港北区ニュータウン地域内文化財調査報告II』横浜市埋蔵文化財調査委員会調査団・横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 1972 鈴木保彦『東正院遺跡調査報告 神奈川県鎌倉市関谷所在の縄文遺跡について』神奈川県教育委員会・東正院遺跡調査団
- 1973 今村啓爾ほか『霧ヶ丘』霧ヶ丘遺跡調査団・武蔵野美術大学考古学研究会
- 1976 川上久夫ほか『港南台』神奈川県埋蔵文化財調査報告9 神奈川県教育委員会
- 1976 鈴木一男・池田彦三郎『大磯小学校遺跡』大磯町埋蔵文化財発掘調査報告書第1集 大磯町教育委員会
- 1977 佐江戸遺跡調査会『清水場 横浜市緑区佐江戸町における弥生・土師集落址の調査(上)』佐江戸遺跡調査会
- 1977 岡本孝之ほか『尾崎遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告13 神奈川県教育委員会
- 1977 鈴木保彦ほか『下北原遺跡 伊勢原市下北原所在の縄文時代配石遺構の調査』神奈川県埋蔵文化財調査報告 14 神奈川県教育委員会
- 1981 江藤昭『稲荷林遺跡 神奈川県相模市下溝稲荷林遺跡調査概報』相模市下溝稲荷林遺跡調査団
- 1981 金子皓彦・剣持雅章・土屋政博『明王堂下A遺跡』座間市文化財報告第7集 座間市教育委員会
- 1981 白石浩之『細田遺跡 県立汲沢高等学校建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財調査報告23 神奈川県教育委員会
- 1981 禿 仁志ほか『帷子峯遺跡 横浜新道三ツ沢ジャンクション建設予定地内遺跡第1次発掘調査報告書』横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡試掘調査団・横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡調査会
- 1982 杉山博久・山本守男・平野吾郎・谷藤保彦『同明遺跡』秦野市教育委員会
- 1982 金子皓彦・土屋政博・浅野寛ほか『上栗原D遺跡調査報告書』座間市文化財報告第8集 座間市教育委員会
- 1983 伊藤邦・今井康博・坂上克弘・倉沢和子『三ノ丸遺跡発掘調査報告書』横浜市文化財シリーズ 57-1 横浜市埋蔵文化財調査委員会・横浜市教育委員会
- 1983 増子章二ほか『新作小高台遺跡発掘調査報告書本編・論考編』川崎市教育委員会

- 30 1984 國平健三『小池遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告7 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 31 1984 永井正憲ほか『手広八反目遺跡発掘調査報告書』手広遺跡発掘調査団
- 32 1984 近藤英夫ほか『帷子峯遺跡 横浜新道三ツ沢ジャンクション建設予定地区遺跡発掘調査報告書』横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡試掘調査団・横浜新道三ツ沢ジャンクション遺跡調査会
- 33 1984 平子順一ほか『上白根おもて遺跡発掘調査報告 県営上白根団地建設に伴う埋蔵文化財調査報告書』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 34 1985 鈴木一男ほか『城山遺跡Ⅱ』大磯町文化財調査報告第26集 大磯町教育委員会
- 35 1985 永井正憲ほか『関谷島ノ神西遺跡発掘調査報告書』関谷島ノ神西遺跡発掘調査団・鎌倉市教育委員会
- 36 1986 大貫英明・青木 豊『橋本遺跡 縄文時代編 本文』相模原市橋本遺跡調査会
- 37 1986 日野一郎『平塚市文化財調査報告書 第22集』平塚市教育委員会
- 38 1987 相原俊夫『県営岡田団地内遺跡（第1期～第4期）発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 39 1987 御堂島正・長岡史紀『宮久保遺跡Ⅰ 県立綾瀬西高等学校建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告15 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 40 1987 山田不二郎『埋蔵文化財発掘調査概報集』相模原市埋蔵文化財調査報告12 相模原市教育委員会
- 41 1988 大上周三・御堂島正・砂田佳弘『新戸遺跡 県立新磯高校建設にともなう調査 第1分冊』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告17 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 42 1988 山本暉久・服部実喜・谷口肇『金沢文庫遺跡 県立金沢文庫新築予定地内遺跡（国指定史跡「称名寺境内」）の調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告19 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 43 1988 中村若枝『横浜市港北区 公団篠原団地内貝塚資料』
- 44 1988 小西雅徳ほか『あざみ野遺跡 国学院大学あざみ野運動場内遺跡発掘調査報告書』あざみ野遺跡調査団・国学院大学
- 45 1989 矢野信悟・上本進二『砂田台遺跡Ⅰ』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告20 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 46 1989 橋本昌幸『川島町西原遺跡発掘調査報告 市営西原住宅建替に伴う埋蔵文化財調査報告書』横浜市埋蔵文化財調査委員会
- 47 1990 鈴木・坂口滋昭『宮ヶ瀬遺跡群Ⅰ 上村遺跡 平原向原遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告21 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 48 1990 石井 寛ほか『山田大塚遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告11 横浜市埋蔵文化財センター
- 49 1989 竹石健二ほか『神奈川県川崎市麻生区 岡上丸山遺跡発掘調査報告書本文編』川崎市教育委員会社会教育部文化課・川崎市教育委員会
- 50 1991 上田薫・長岡文紀『宮ヶ瀬遺跡群Ⅱ ナラサス遺跡 ナラサス北遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター 21 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 51 1991 常木晃ほか『東海大学校地内遺跡調査団報告2』東海大学校地内遺跡調査団
- 52 1991 寺田兼方・澤田大郎『藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査報告書 西部209地点遺跡・西部215地点遺跡・西部225地点遺跡』藤沢市西部開発事務局・藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査団
- 53 1991 橋本昌幸『都筑自然公園予定地内遺跡群（2）発掘調査報告 都筑自然公園建設計画に伴う埋蔵文化財調査報告書（No.5・6・7地点遺跡）』横浜市埋蔵文化財センター
- 54 1992 浅野寛ほか『間の原遺跡 目久尻川遊水池建設に伴う発掘調査記録』座間市教育委員会 間の原遺跡発掘調査団
- 55 1992 三ッ橋正夫ほか『神奈川県相模原市下中丸遺跡』相模原市当麻・下溝遺跡群調査会
- 56 1992 三ッ橋勝『神奈川県相模原市東原遺跡』相模原市当麻・下溝遺跡群調査会
- 57 1992 御堂島正・河野喜映・恩田勇『川尻遺跡 県道相模原津久井線川尻バイパス建設にともなう調査』神奈川県立埋蔵文化財センター 23 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 58 1992 桜井準也・小林謙一ほか『慶應義塾湘南藤沢キャンパス内遺跡』慶應義塾大学
- 59 1992 平子順一・橋本昌幸『稲ヶ原遺跡A地点発掘調査報告 横浜市立さつきが丘小学校建設に伴う埋蔵文化財調査報告』（財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 60 1992 寺田兼方・澤田大郎『遠藤貝塚（西部217地点）』藤沢市西部開発事務局・藤沢市西部開発地域内埋蔵文化財発掘調査団
- 61 1993 中村喜代重・小滝勉・阿部芳郎『吉岡堀ノ内横穴墓群 土土棚遺跡（縄文時代編）土土棚南遺跡』綾瀬市埋蔵文化財調査報告3 綾瀬市教育委員会
- 62 1993 石井 寛『牛ヶ谷遺跡・華蔵台南遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告14（財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
- 63 1994 市川正史・恩田勇『宮ヶ瀬遺跡群Ⅳ 北原（No.9）遺跡（2）北原（No.1）遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター 21 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 64 1994 河野喜映『青根上野田遺跡』かながわ考古学財団調査報告2 財団法人かながわ考古学財団
- 65 1994 戸田哲也・迫和幸・中山豊『東谷戸遺跡発掘調査報告書』上荻野東部土地区画整理事業事業区域内遺跡発掘調査団
- 66 1994 迫和幸・相原俊夫・麻生順司・玉川久子『神奈川県相模原市下溝鳩川遺跡発掘調査報告書』下溝鳩川遺跡発掘調査団
- 67 1995 秋田かな子ほか『東海大学校地内遺跡調査団報告5』東海大学校地内遺跡調査委員会東海大学校地内遺跡調査団
- 68 1995 鈴木次郎ほか『宮ヶ瀬遺跡群Ⅴ』かながわ考古学財団調査報告4 財団法人かながわ考古学財団
- 69 1995 寺田兼方・須田英一・桜井準也ほか『神奈川県藤沢市南葛野遺跡—県道横浜・伊勢原線葛原地内に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』南葛野遺跡調査団
- 70 1995 桜井準也・小林謙一・望月芳『南鍛冶山発掘調査報告書 藤沢市都市計画事業北部第二土地区画整理事業に伴う調査 第2巻縄文時代』藤沢市教育委員会
- 71 1995 小宮恒雄・坂本 彰『古梅谷遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告17（財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター・横浜市教育委員会
- 72 1995 石井寛『川和向原遺跡 原出口遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告19（財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター・横浜市教育委員会
- 73 1995 竹石健二ほか『川崎市東柿生小学校内遺跡発掘調査報告書』東柿生小学校内遺跡発掘調査団・川崎市教育委員会
- 74 1996 伊丹徹ほか『長津田遺跡群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告12 財団法人かながわ考古学財団
- 75 1996 後藤喜八郎・若井千佳子・谷本靖子・門田優子『相模原市No.62遺跡発掘調査報告書』相模原市No.62遺跡発掘調査団
- 76 1996 後藤喜八郎ほか『No.19寺山遺跡発掘調査報告書』No.19寺山遺跡発掘調査団
- 77 1996 小林義典『久野北側下遺跡第Ⅲ地点 発掘調査報告書』玉川文化財研究所
- 78 1996 杉山博久・井辺一徳・矢納健志『井ノ口平治山遺跡』グリーンテクなかい埋蔵文化財発掘調査団
- 79 1996 富永樹之『宮ヶ瀬遺跡群Ⅶ』かながわ考古学財団調査報告9 財団法人かながわ考古学財団
- 80 1997 伊丹徹ほか『長津田遺跡群Ⅲ』かながわ考古学財団調査報告14 財団法人かながわ考古学財団
- 81 1997 大上周三・大塚健一・飯塚美保『下大槻峯遺跡（No.30） 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告2—秦野市内—』かながわ考古学財団調査報告24 財団法人かながわ考古学財団
- 82 1997 川上久夫・野内秀明・釘持輝久・小暮慶明『間口東洞穴遺跡 急傾斜地防災工事にともなう緊急調査』松輪間口東海蝕洞穴遺跡調査団

- 83 1997 阪本宏児・砂田佳弘ほか『吉岡遺跡群Ⅲ 旧石器時代2 B2・L2層の石器文化 縄文時代1 早期～後期 綾瀬浄水場建設にともなう発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告20 財団法人かながわ考古学財団
- 84 1997 近野正幸ほか『宮ヶ瀬遺跡群ⅢⅢ』 かながわ考古学財団調査報告19 財団法人かながわ考古学財団
- 85 1997 村上吉正・吉垣俊一・谷口 肇『中里遺跡 (No.31) 西大竹上原遺跡 (No.32) 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告4- 秦野市内 -』 かながわ考古学財団調査報告30 財団法人かながわ考古学財団
- 86 1997 村澤正弘・細井佳浩・小池聡『相ノ原遺跡第Ⅴ地点第4次調査 (大和市 No.207遺跡)』 大和市文化財調査報告書65 大和市教育委員会
- 87 1997 鈴木重信・鹿島保宏・橋本昌幸『豊屋の上遺跡・西谷戸の上遺跡・北川貝塚南遺跡 第三京浜道路 (改築) 新港北インターチェンジ (仮称) 埋蔵文化財発掘調査報告書』 (財) 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター・日本道路公団
- 88 1998 相原俊夫・河合英夫・中山豊『御屋敷添遺跡第1地点 発掘調査報告書』 御屋敷添遺跡第1地点発掘調査報告書
- 89 1998 市川正史・鈴木次郎・吉田政行『宮ヶ瀬遺跡群ⅤⅤ 北原 (No.10・11北) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告41 財団法人かながわ考古学財団
- 90 1998 恩田 勇・近野正幸・吉田政行『宮ヶ瀬遺跡群ⅥⅥ 久保ノ坂 (No.4) 遺跡 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告42 財団法人かながわ考古学財団
- 91 1998 戸田哲也ほか『多摩区No.61遺跡 (宿河原縄文時代低地遺跡) 発掘調査報告書』 多摩区No.61遺跡発掘調査団
- 92 1998 増田精一『今泉遺跡群』 今泉地区遺跡群発掘調査団
- 93 1998 松井泉ほか『下九沢下作ノ口遺跡 - 市道376号ほか2道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 -』 市道376号ほか2道路改良工事地内発掘調査団
- 94 1998 村上吉正・吉垣俊一『東向遺跡 (No.33) 第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告5- 中井町内 -』 かながわ考古学財団調査報告31 財団法人かながわ考古学財団
- 95 1998 矢島國雄・阿部佳郎・小滝勉・井上洋一『上土棚南遺跡第3次調査』 綾瀬市埋蔵文化財調査報告5 綾瀬市教育委員会
- 96 1998 吉田浩明ほか『寸嵐二号遺跡発掘調査報告書』 相模湖町No.6遺跡発掘調査団
- 97 1998 呉地英夫ほか『岡上-4遺跡発掘調査報告書』 岡上-4遺跡発掘調査団
- 98 1998 平野裕久ほか『道志導水路関連遺跡』 かながわ考古学財団調査報告59 財団法人かながわ考古学財団
- 99 1999 松田光太郎・井辺一徳・田村裕司『白久保遺跡 第2分冊 縄文時代 芹沢配水池建設にともなう発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告60 財団法人かながわ考古学財団
- 100 1999 野内秀明ほか『吉井城山』 横須賀市文化財調査報告書第34集 横須賀市教育委員会
- 101 1999 若林勝司ほか『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書1』 平塚市真田・北金目遺跡調査会
- 102 1999 石井寛『小丸遺跡』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告25 (財) 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター・横浜市教育委員会
- 103 1999 鈴木次郎・市川正史・近野正幸『宮ヶ瀬遺跡群ⅧⅧ 馬場 (No.6) 遺跡 (2) 北原 (No.9) 遺跡 (3) 宮ヶ瀬ダム建設にともなう発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告51 財団法人かながわ考古学財団
- 104 2000 市川正史・井関文明『上土棚南遺跡 第4次調査 蓼川改修事業に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告109 財団法人かながわ考古学財団
- 105 2000 加藤勝仁・小川岳人・伊丹徹『川尻遺跡Ⅱ 谷ヶ原浄水場内事業に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告69 財団法人かながわ考古学財団
- 106 2000 穴戸信悟・宮坂淳一・松田光太郎・三瓶裕司『三ノ宮・下谷戸遺跡 (No.14) Ⅱ 第一東海自動車道 (東名高速道路) 厚木～大井松田間拡幅工事に伴う調査 17 - 伊勢原市内 -』 かながわ考古学財団調査報告76 財団法人かながわ考古学財団
- 107 2000 高杉博章・小山裕之・中山 豊・佐々木竜郎『上吉沢市場地区遺跡群 発掘調査報告書』 平塚市
- 108 2000 小池 聡ほか『三保天神前遺跡 三保天神前第二土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告』 三保天神前第二土地区画整理事業地内遺跡発掘調査団
- 109 2000 浜田晋介ほか『下原遺跡 縄文時代晩期、弥生時代後期、古墳時代前期の集落址の調査』『川崎市市民ミュージアム考古学叢書』4 川崎市市民ミュージアム
- 110 2001 河本雅人『埋蔵文化財発掘調査概報集』 相模原市埋蔵文化財調査報告25 相模原市教育委員会
- 111 2001 小林義典・小山裕之・中山 豊・香川達郎『御組長屋遺跡 第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ地点 発掘調査報告書 都市計画道路小田原早川線街路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査』 都市計画道路小田原早川線改良工事遺跡発掘調査団
- 112 2001 浜田晋介ほか『下原遺跡Ⅱ』『川崎市市民ミュージアム考古学叢書』5 川崎市市民ミュージアム
- 113 2001 呉地英夫『神奈川県川崎市麻生区岡上-4遺跡第2地点発掘調査報告書』 岡上-4遺跡発掘調査団
- 114 2002 大野 悟・栗山雄輝・菅沼圭介・宮田忠洋『万田遺跡・構之内遺跡 平成11・12年度公共下水道建設に伴う発掘調査』 平塚市埋蔵文化財シリーズ37 平塚市
- 115 2002 伊東秀吉・大坪宣雄・長澤邦夫・小林克利・守屋照代『当麻亀形遺跡』 相模原市都市計画道路嶽之内当麻線道路改良事業地内遺跡調査団
- 116 2002 大貫英明・内田洋隆『当麻亀ノ甲・西原遺跡』 相模原市埋蔵文化財調査報告26集 相模原市教育委員会
- 117 2002 栗原伸好・新開基史・中田 英・葉山俊章・天野賢一『用田鳥居前遺跡 県道22号 (横浜伊勢原) 線道路改良事業 (用田バイパス建設) に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告128 財団法人かながわ考古学財団
- 118 2002 土井永好・長谷川宙輝『田名塩田・西山遺跡』 相模原市埋蔵文化財調査報告27集 相模原市教育委員会
- 119 2002 戸田哲也・吉田浩明・麻生順司・中山豊『久野諏訪ノ原遺跡群Ⅰ 久野一本松・久野天野藪・久野坂下窪遺跡 市道0036号線道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査』 小田原市文化財調査報告書第101集 小田原市教育委員会
- 120 2002 長岡文紀『原口遺跡Ⅲ 縄文時代 (第1分冊 本編1 第2分冊 本編2 第3分冊 自然科学分析・写真図版編) 農業総合研究所建設に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告134 財団法人かながわ考古学財団
- 121 2002 松田光太郎・大塚健一・中村賢太郎『稲荷山貝塚 根岸米軍 (11) 法面整備工事に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告131 財団法人かながわ考古学財団
- 122 2002 香村紘一ほか『相原八幡前遺跡』 相模原市相原地区遺跡調査団
- 123 2003 加藤信夫『西富貝塚 (藤沢市 No.46遺跡)』 藤沢市文化財調査報告書第38集 藤沢市教育委員会
- 124 2003 香村紘一ほか『神奈川県相模原市No.104遺跡発掘調査報告書』 相模原市No.104遺跡発掘調査団
- 125 2003 小林義典『久野北側下遺跡第1地点 久野北側上遺跡第1地点 久野北久保遺跡第Ⅱ・Ⅳ地点 市道2421号線改良工事に伴う埋蔵文化財調査』 小田原市文化財調査報告書第114集 小田原市教育委員会
- 126 2003 坂本彰ほか『西ノ谷貝塚』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告33 財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 127 2003 戸田哲也・麻生順司・中山豊・坪田弘子『遠藤山崎・遠藤谷遺跡 発掘調査報告書』 玉川文化財研究所
- 128 2003 北原實徳・新開英樹『神奈川県川崎市井田中原遺跡B地点』 井田中原遺跡B地点発掘調査団
- 129 2003 河合英夫ほか『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書4』 平塚市真田・北金目遺跡調査会
- 130 2004 天野賢一・宮井 香『篠原大原遺跡 篠原団地 (先工区) 建て替え事業に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告175 財団法人かながわ考古学財団
- 131 2004 石井寛『高山遺跡』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告35 財団法人横浜市ふるさと歴史財団

縄文時代研究プロジェクトチーム

- 132 2004 小川岳人・井辺一徳 『池端・椿山遺跡 緊急地方道路整備事業（主要地方道路横浜・伊勢原線）に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告165 財団法人かながわ考古学財団
- 133 2004 小池聡・山田仁和・粕屋隆・阿曾正彦 『久野北側下遺跡第Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ地点 久野久保下遺跡第Ⅰ地点』 小田原市文化財調査報告第123集 小田原市教育委員会
- 134 2004 武部喜充ほか 『矢崎山西遺跡発掘調査報告書』 山武考古学研究所
- 135 2005 坂上克弘 『月出松遺跡 月出松南遺跡』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告37 財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 136 2005 山田光洋 『大高見遺跡 小高見遺跡』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告38 財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 137 2005 吉田政行・新開基史・中田 英 『用田南原遺跡Ⅱ 県道22号（横浜伊勢原）線道路改良事業（用田バイパス建設）に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告180 財団法人かながわ考古学財団
- 138 2007 坂本彰ほか 『北川貝塚』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告39 財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 139 2007 戸田哲也・中村哲也・麻生順司・小森明美・石川真紀・金子浩昌・松島 万田貝殻坂貝塚（万田遺跡第9地点） 発掘調査報告書』 平塚市
- 140 2007 水澤丈志・内田仁 『古清水遺跡―第1次発掘調査報告書―』 加藤建設株式会社埋蔵文化財調査部
- 141 2007 山田仁和ほか 『横浜市港北区篠原大原北遺跡』 吾妻考古学研究所
- 142 2008 石井寛 『華蔵台遺跡』 港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告41 財団法人横浜市ふるさと歴史財団
- 143 2008 大塚健一・小西絵美 『下北原遺跡Ⅱ 伊勢原調整池築造工事に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告222 財団法人かながわ考古学財団
- 144 2008 矢島國雄・小滝勉・高橋毅・初鹿野博之 『上土棚南遺跡 第5次～第7次調査の記録』 綾瀬市埋蔵文化財調査報告6 綾瀬市教育委員会
- 145 2008 若林勝司ほか 『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書6』 平塚市真田・北金目遺跡調査会
- 146 2009 井辺一徳・小林晴生・相良英樹 『はじめ沢下遺跡 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（さがみ縦貫道路）建設事業に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告236 財団法人かながわ考古学財団
- 147 2009 加藤勝仁・小西絵美・菊川 泉・井関文明 『上行寺裏遺跡（瀬戸14番地やぐら群）Ⅲ 平成19・20年度金沢八景南地区急傾斜地崩壊対策工事に伴う発掘調査』 かながわ考古学財団調査報告241 財団法人かながわ考古学財団
- 148 2009 山田不二郎・山本暉久 『縄文時代遺跡資料調査報告書』 相模原市史調査報告書5 相模原市教育委員会